



栃木市マスコット
キャラクターとちぎ

農業委員会だより とちぎ

2020.1.1
第13号

発行/栃木市農業委員会
編集/農業委員会だより編集委員会
電話/0282-21-2393



目次

会長新年あいさつ	P2
農業委員の紹介	P2
運営委員会・専門委員会の紹介	P3
農地利用最適化推進委員の紹介	P4.5
なでしこ委員会活動報告	P5
農業委員会からのお知らせ	P6
頑張ってます！ Agrist	P7
季節の郷土料理	P7
頑張ってます！ Agrist	P8
編集後記	P8

おおみわじんじゃ おほこまつり 大神神社の御鉾祭(惣社町)

大神神社は、今から約1800年前に大和国三輪山の^{みわやま}大三輪神社の分霊を奉祀し建立されたものと伝えられています。

昨年は11月23日に、秋季例大祭「御鉾祭」が行われました。神様から命をいただき、その命が成長していくことを^{ことほ}寿ぐお祭です。「おくるめ様」と呼ばれる童女が神様に奉仕し、五穀豊穡や安産祈願をします。祭のはじめには、神楽が^{かぐら}奉納されます。



《取材：長 明美委員》
《写真提供：大神神社》

会長新年あいさつ



栃木市農業委員会
会長 大塚 幸八

新年明けましておめでとうござい
ます。2020年の輝かしい新春を
お迎えのことお慶び申し上げます。
昨年7月の改選により会長に就任
いたしました。農業委員会を代表し
たしまして、皆様にごあいさつ申し上
げます。

日頃より農業委員会活動に多大な
ご理解・協力を賜り、深く感謝申
し上げます。昨年栃木市に、甚大な
災害をもたらした台風19号で被災さ
れた皆様には、心よりお見舞い申し
上げます。県内各地に深い爪痕を残
し、県内の農業被害額167億円、
栃木市では、8億6854万円もの
農作物、農業施設、農地などに大き
な損害が発生しました。全国で自然
災害のない年はないほど、毎年よう
に起きるので、とても不安でなりませ
ん。

さて、国の農政をめぐる情勢とし
て昨年11月28日に全国農業委員会
会長大会が行われ、食料・農業・農
村基本法計画の見直しを今年より推
し進める政策提案決議がなされまし

た。農地利用最適化を推進する担い
手政策の強化、土地改良事業による
農地大区画化、大規模自然災害の
支援と備え、「人・農地プラン」の実
質化など、本市でも取り組む課題が
たくさんあります。また、国はスマー
ト農業を推進し、ロボットや無人によ
る農作業や情報通信技術（ICT）
等の活用により労働力の省力化など、
次世代農業に取り組む計画もしてい
ます。

私達農業者も、いつまで農業が出
来るのか。出来なくなったら、借りて
いる農地は地主に返せばいい、では無
責任すぎます。きちんと担い手を育
て、後押しする義務があると思いま
す。農業委員会は農地法に基づく業
務と、農地利用最適化推進委員と
連携し「自分達の地域は自分達の手
で守る」をスローガンに、地域リーダ
の育成も重要な仕事と考えていま
す。また、担い手への集積集約の一助
となる活動を日々行い、地域農業の発
展のため努力しなければなりません。
その為にも皆様の深いご理解と協力
を、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとりま
して本年が穏やかなより良い年とな
りますよう心からご祈念申し上げます
して、新年のごあいさつとさせていただきます。

新しい農業委員が任命されました

昨年7月19日の任期満了に伴い、議会の同意を得て、市長が次の25人の農業委員を任命いたしました。
任期は、令和元年7月20日～令和4年7月19日までの3年間です。
農業に関わる諸問題解決の身近な相談相手として、農地に関する様々な活動を行います。
なお、7月20日に市役所において総会が行われ、会長に大塚幸八氏、会長職務代理者に柴賢一郎氏、木村隆夫氏が選出されました。

中立委員

栃木地域



鈴木 芳博
☎028-645-5038



長 明美
☎27-1898



毛塚 信道
☎24-1749



大島 洋一
☎24-6369



白沢 栄幸
☎31-0383



若色 昭松
☎27-3477



木村 隆夫
☎24-1885



柴 賢一郎
☎31-2026

藤岡地域

大平地域



関根 仁
☎62-4937



石塚 一彦
☎67-3624



阿部 康夫
☎62-5115



前田 克己
☎62-3378



小林 真理子
☎43-3848



大島 知江子
☎43-6432



石川 光
☎43-3331



平本 勲
☎43-4444



大島 公一
☎23-5485

岩舟地域

西方地域

都賀地域



船田 和男
☎55-1613



五十畑 節子
☎55-1583



山中 雅博
☎57-7233



鈴木 久美子
☎92-2448



狐塚 正直
☎92-7774



若林 英一
☎92-7543



泉田 裕美
☎27-7660



大塚 幸八
☎27-6415

運営委員会・専門委員会の紹介

運営委員会

運営委員会は、前田克己委員長と平本勲副委員長が委員会を代表して活動しており会長と会長職務代理人を含めた9人の農業委員をもって組織されております。

本委員会は農業委員会の重要案件や方針について協議するとともに、農業委員会の円滑かつ適正な運営を期するため設置されております。また、農業委員会総会や全体会議で審議する内容について、事前協議する場でもあります。



農地委員会



農地委員会は、若林英一委員長と若色昭松副委員長を代表として7人の農業委員をもって組織されています。農地利用の最適化を推進するための専門委員会、主な業務は、①耕作放棄地解消に向けた対策に関する事項②農地パトロールに関する事項③農地の再生利用状況調査に関する事項④農地の利用状況調査に関する事項⑤納税猶予特例農地に関する事項⑥農地利用最適化推進委員と連携した活動に関する事項です。

農業委員会だより編集委員会

農業委員会だより編集委員会では、五十畑節子委員長と石塚一彦副委員長を中心に9人の農業委員が取材に励んでおります。その時々、のトピックス、農業者への情報提供、がんばっている農業者の紹介、季節の郷土料理、農業委員会の活動等を皆様にお知らせするため、年2回、農業委員会だよりを発行しています。

全国の農業委員会だより等を研究し、より良いものを発行できるように日々、情報収集に努めております。



なでしこ委員会



なでしこ委員会は、小林真理子委員長と長明美副委員長を代表として、6人の女性農業委員で組織され、女性の視点を活かした、農業振興を図ることを目的として設置されています。家族経営協定の啓発・推進、農業体験を通して子供の食育事業などの活動を行ってきました。今後、女性ならではのアイデアで、様々な活動を企画し、農業の発展に寄与したいと考えています。

新しい農地利用最適化推進委員を委嘱しました

任期満了に伴い、栃木市農業委員会が次の40人を農地利用最適化推進委員に委嘱いたしました。農業委員とともに農地利用の最適化業務を行っていただきます。任期は、令和元年7月20日～令和4年7月19日までの3年間です。

昨年7月20日に委嘱状交付式が市役所で行われ、大塚幸八農業委員会会長より委嘱状を交付しました。その後、事務局職員による、農地利用最適化活動や、農地パトロール（利用状況調査）の実施についての説明会を行いました。

農地利用最適化推進委員の業務内容

担当地域において、次の業務を担当します。

- ①遊休農地の発生防止・解消の推進
- ②担い手への農地の利用集積の推進
- ③新規参入の促進

農地利用最適化推進委員の紹介

藤岡地域

代表 **小野 照雄**



☎62-2180
赤麻

副代表 **永島 博行**



☎62-9626
都賀、大田和、太田

須藤 忠

☎67-2223
部屋、緑川、新波、石川、帯刀

綾部 憲一

☎67-3137
蛭沼、西前原、富吉、中根

関塚 明夫

☎62-3224
藤岡（荒立、荒立北、向山、荒立第2、通山合、山合、堤外、東原、底谷、上町、仲町、羽黒、内町、下町、新町）

☛左上に続く

大平地域

副委員長代表 **柏淵 敏雄**



☎24-3598
横堀、牛久、土与、川連、北武井

副代表 **柴田 和男**



☎43-4048
西水代、伯仲

生澤 良一

☎43-5043
蔵井、真弓、上高島、下高島

永田 英人

☎44-0549
新、西野田、榎本

須藤 法男

☎43-3890
富田、下皆川

須藤 時夫

☎43-4305
西山田

栃木地域

西代表 **臼井 文雄**



☎31-2027
吹上第1、吹上第2、細堀町、木野地町、川原田町

西副代表 **小林 一喜**



☎31-1421
尻内町、梅沢町、大久保町、鍋山町、星野町、出流町

山田 正一

☎24-0269
柏倉町、小野口町、皆川城内町（三五、城下北、鳥砂、荒宿、城下南、城南、中央）、志鳥町

渡邊 喜三郎

☎24-6037
大皆川町、岩出町、泉川町、新井町、皆川城内町（松原、新町）

生澤 常明

☎31-1121
宮町、吹上第3、吹上新道、野中町、野中松原、千塚町、大森町、仲方町、梓町

副委員長東代表 **渡邊 和男**



☎27-0278
惣社町、柳原町、大塚町

東副代表 **若色 祐一**



☎27-3486
今泉町1～2、平柳町1～4、大宮町

立岡 明

☎22-3254
万町、倭町、旭町、室町、城内町1～2、神田町、本町、沼和田町、河合町、日ノ出町、片柳町1～5、湊町、富士見町、境町、平井町、菌部町1～4、入舟町、祝町、箱森町、小平町、嘉右衛門町、錦町、泉町、大町、昭和町、柳橋町

新村 忠央

☎23-4197
仲仕上町、藤田町、久保田町、宮田町、高谷町、樋ノ口町

日向野 常男

☎27-1395
寄居町、国府町、大光寺町、田村町

農地利用最適化推進委員の紹介

岩舟地域

委員長 代 表 戸谷 勝次



☎55-2718
古江、新里、三谷、
下岡、上岡

副代表 三柴 昇



☎55-6239
静戸、
静和（赤塚、赤
羽根、林、学校前）

戸澤 育之

☎55-6516
五十畑、和泉、
静和（古橋、駅前）

佐山 和也

☎55-6437
曲ヶ島

坂本 邦雄

☎55-3083
静（茂呂、羽抜、御門）、
下津原

西方地域

代 表 荒川 文男



☎92-2221
金崎、金井

副代表 阿久津 一男



☎92-2605
本城、元、本郷

石田 勝英

☎92-7796
真名子

野口 浩志

☎55-3130
静（茂呂、羽抜、御門を除く）、
置岡、鷺の巣

川島 研造

☎57-7751
小野寺下、小野寺中、
小野寺上

都賀地域

副委員長 代 表 長 正弘



☎27-0499
合戦場、平川、
升塚、下新田

副代表 大賀 良男



☎27-7313
原宿下、原宿上、
木の東、木の西、
木の北

早乙女 近史

☎27-5936
新名地、宿、桜本、
中荒井、鷺の宮

鳩山 良之

☎27-8689
中新田、橋本、上新田、
家中本郷、中妻中の内

若林 一雄

☎92-8533
桜内、臼久保、大橋、富張

藤岡地域

柿沼 誠一郎

☎62-9493

藤岡（城山1～2、城南、鹿島、
南山1～2、小出山、高間、
向高間、釜場、原、篠山1～2）、
下宮、内野

小堀 貞雄

☎62-3645
大前

加藤 元一

☎62-3823
甲



なでしこ委員会活動報告

小学生と共に稲刈り体験

昨年10月7日（月）に栃木市立合戦場小学校
五年生の農業体験学習が、都賀町升塚で行われ
ました。この事業は、手塚政子さん（前農業委
員）が長年、合戦場小学校に協力し取り組んで
いる活動です。平成30年10月には、栃木県教育
委員会から学校支援ボランティア感謝状を授与
されています。

はじめに手塚さんの夫である久雄さんから、
稲の作柄や稲の刈り方と注意点の説明がありま
した。その後、小学生64人と保護者、なでしこ
委員の全員が田んぼの中に入り、稲刈り作業に
汗を流しました。

稲刈り後、子供達に、なでしこ委員達が作っ
た新米の味噌おにぎりとニラたま汁を提供しま
した。「とても美味しい」と大好評でした。

子供達が春には田植え、秋には稲刈りの体験
ができた事は、最高の食育活動だと思います。
なでしこ委員の仲間や子供達と過ごした時間
は、とても楽しく有意義な一日でした。

《取材：小林真理子委員》



知って得する農業者年金

農業者年金で

生活の安定を考えませんか？

6つのポイント

- ① 農業者の方なら広く加入できる
- 国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）

- 年間60日以上農業に従事
- 20歳以上60歳未満の方
- ② 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い
- ③ 保険料の額（月額2万円～6万7千円）は自由に決められる
- ④ 終身年金。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある
- ⑤ 税制面の優遇措置がある
- ⑥ 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

3つのメリット

- ① 女性に優しい
 - ・奥様も単独で入れます
 - ・女性農業者の長い老後をしつかりサポートします
 - ・女性農業者の老後の安心は自分で確保
- ② 若年層には手厚い政策支援（保険料補助）
 - ・家族経営協定で保険料補助も
- ・国民年金第1号被保険者等の農

業者年金加入要件に加え

- ◎ 39歳までに加入
- ◎ 農業所得900万円以下
- ◎ 認定農業者で青色申告者等を満たせば受けられます
- ③ 税制面で大きな優遇
 - ・支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります

詳しい内容については、農業委員会事務局（☎21-2393）までお問い合わせください。

全国農業新聞を購読してみませんか

発行所…全国農業会議所
毎週金曜日発行
B3版8～10頁建
購読料…月700円（送料、税込み）



全国農業新聞は、農業者の公的代
表機関である農業委員会組織が発行
する農業総合専門紙です。経営とく
らしに役立つ農業総合専門紙として
高い評価を受けています。

「週刊」の時間的利点を生かし、
情報がわかりやすいよう解説的にま
とめています。
また、多くの読者の皆様に満足し
て頂けるよう、家族全員が楽しめる

記事も充実しています。

さらに、全国47都道府県にある支
局の県版・地方版の充実により、地
域の元気で特徴ある面白い話題や地
域独自のイベント情報などの提供に
努めています。みなさまのご購読の
お申し込みをお待ちしております。
購読のお申し込みは、農業委員
又は農業委員会事務局（☎21-
2393）までご連絡ください。

「ご存知ですか？」収入保険制度

◎ 「収入保険」は、農業をされてい
る方の経営努力では避けられな
い、自然災害や農産物の価格の低
下などで、売上が減少した場合に、
その減少分の一部を補償する保険
です。

- ◎ 基本的に、農産物ならどのような品目でも対象となります。
 - ◎ 保険料率は1・08%（50%の国庫補助後）で、収入保険に加入していれば、農家ごとの平均収入の8割以上の収入が確保されます。
 - ◎ 青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象となります。青色申告の実績が1年分あれば加入できます。
- 詳しくは、お近くの農業共済組合
にお問い合わせください。

農業用軽油引取免税証 申請日程のお知らせ

令和2年2月5日～20日

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
		栃木	栃木	共同・受委託
10	11	12	13	14
共同・受委託		都賀・西方	都賀・西方	藤岡
17	18	19	20	21
藤岡	大平	午前：大平 午後：静和地区	午前：岩舟地区 午後：小野寺地区	

受付時間…【午前】9：00～11：30
【午後】1：00～4：00

申請会場…下都賀庁舎

第2福利厚生棟会議室

（栃木市神田町6-6）

問合せ…栃木県事務所

軽油引取税調査担当

☎23-6882

アグリスト
頑張ってます! Agrist (農・業・人)

**味にこだわった
 野菜作りを**

西方町

阿部 敏也^{あべ としや}さん・亜希子^{あきこ}さん (妻)

実家が農家だった敏也さんは、サラリーマン生活を送られた後、亜希子さんと共に農業の道に入られました。今年で10年目を迎えられたお二人に、農業に対する思いをお伺いしました。



敏也さん 亜希子さん

経営状況を教えてください。

15棟のハウス等で、ニラ・きゅうり・パプリカ・トマト・玉ねぎ等、年間を通じて10種類程の野菜を栽培し、地元の道の駅やJAに出荷しています。

5年前の雪害で、軌道に乗りかけていたアスパラガスのハウスを全て潰され、とても苦労しましたが、ここ数年で少しずつ経営状況も回復してきました。

農業の喜びを教えてください。

土づくりにとてもこだわっています。土壌診断をし、作物に適した施肥を行い、おいしい野菜を作ることを常に目指しています。自分達が頑張った成果として、おいしい野菜を収穫出来ると、とても嬉しいです。



これからの目標は?

農業の、きつい・辛いというイメージをなくし、子供たちに魅力ある農業として引き継いで行きたいです。そのためには、個人の力では限界があり、様々な業種・地域とのつながりを持って盛り上げていく事が大切だと考えています。

〈取材：鈴木久美子委員〉

季節の郷土料理

昆布は「喜ぶ」との語呂合わせから縁起物として、おせち料理や、お正月の鏡飾りとして重宝されて来ました。「養老昆布」とも書ける為、お祝いの意味の他に、不老長寿の願いが込められているそうです。

おせち料理にかかせない昆布巻きには、よく鰹が使われます。鰹は「二親」と当て字することができ、鰹の卵である数の子は、両親への感謝、子孫繁栄に通じるので縁起が良いからです。

我が家の昆布巻きは、鰹ではなく鮭、大根、人参、ごぼうを使って作ります。地域やご家庭によっては、鮭、マグロ、ししゃも等を使用するところもあるようです。お子様の口に合うように豚肉、鶏むね肉でアレンジする場合もあります。

どの食材を使っても、子孫繁栄、不老長寿を願う気持ちは同じだと思います。

《泉田裕美委員》



大根、人参、ごぼう、鮭を使った 昆布巻き

アグリスト
頑張ってます! Agrist (農・業・人)

**日々勉強! 目標達成を
 目指したいいちご作り**

都賀町

藤平 隆寿さん・美奈子さん(妻)
 晃男さん(父)・好子さん(母)

藤平隆寿さんは、妻の美奈子さん、父の晃男さん、母の好子さんといちご作り12年目を迎えました。1年間、壬生町で研修を受け就農。平成30年12月に行われた「第15回立毛共進会」では、JAしもつけ管内の各地区の代表7圃場選ばれ出品。栽培管理の徹底、いちごの品質状態など技術の高さを評価され「最優秀賞」を受賞されました。



晃男さん 隆寿さん 好子さん 美奈子さん

経営状況を教えてください。

現在、単棟ハウス10棟(26a)のとちおとめを栽培している他に、水稲3.5ha、麦80aを耕作しています。

工夫している点、気を配っている点を教えてください。

いちごの苗が元気で良い実をつけてくれるように、複合微生物活性液を苗の状態に応じて使っています。ハウス周りの環境整備や反射材を使って害虫の侵入を防ぐなどして、常に減農薬を心掛けています。

先手を打った防除策はこれからの課題でもあります。

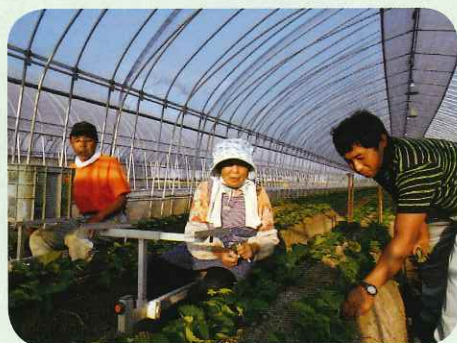
農業をやったの喜び、苦労を教えてください。

手間をかけただけの見返りがあり、育てる喜び、そして収穫する喜びがシーズンを終えて達成感となることです。苦労は自然相手ですので、異常気象と言われる中でそれに適応出来る苗作りが重要だと思います。

これからの目標は、夢を教えてください。

12年いちご栽培をやっても、毎年同じようにはいきません。規模拡大も考えていますが、まずは収量を前年より増やす事、品質の向上に努める事がこれからの目標だと考えています。

〈取材：泉田裕美委員〉



編集後記

新年あけましておめでとうござい
 ます。

昨年の台風19号により被害を受け
 られた皆様に、心よりお見舞い申し
 上げます。

新制度に移行してから三年が経過
 し、改選後、初めての農業委員会だ
 よりとなりますので、複数の紙面を
 農業委員と農地利用最適化推進委員
 の紹介に使わせていただきました。

また、農業委員会だより編集委員
 会も新しいメンバーを迎え、新たな
 気持ちで「農業委員会だより」の作
 成に努めて参りたいと思います。

読者の皆様から、ご意見・ご感想、
 取材等のご要望をお寄せいただけれ
 と幸いです。

《編集委員長 五十畑節子》

農業委員会だより編集委員会

委員長 五十畑節子
 副委員長 石塚 一彦
 委員 大島 洋一
 委員 毛塚 信道



大島知江子
 泉田 裕美
 小林真理子
 鈴木久美子
 長 明美